

公示用

設 計 書

工事名称 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

2. 施工場所 札幌市西区山の手5条6丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年10月14日 まで

5. 工事内容 屋内運動場棟及び管理棟の屋上防水改修工事を行う。

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

札幌市住宅管理公社

屋内運動場棟 防水改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ポリマーセメント系防水	A L C 版面 ALC版間目地目外欠損部及びアンカー部シーリング 補修共		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁断熱工法 ASI-T1 平場 断熱材t30 -		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 平場 - -		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水密着工法 AS-T1 立上り - -		m ²			
防水端末押え金物	アルミ製 アスファルト防水用		m			
既製アルミ水切(シム)	一般部 厚1.2mm以上 幅45mm		m			
防水層端末押え金物	アルミアングル 既製品		m			
防水層端末押え金物(コーナー)	アルミアングル 既製品		か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
改修用ドレン	縦引き 銅製 φ75ドレンキャップ 共(アルミ製)		か所			
既設ドレン洗浄 (基本料金)	洗浄料金別途 -	1	式			
既設ドレン洗浄 (洗浄料金)	ドレン金物から第1雨水枡まで 5階程度 (基本料金別途) -		か所			
計						

札幌市住宅管理公社

[illegible]

札幌市住宅管理公社

令和 7 年度 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 00	タイトル、図面リスト	A - 10	R 階平面図（改修前）
A - 01	特記仕様書 1	A - 11	R 階平面図（改修後）
A - 02	特記仕様書 2	A - 12	矩計図（改修前）
A - 03	特記仕様書 3	A - 13	矩計図（改修後）
A - 04	特記仕様書 4	A - 14	各部詳細図 1
A - 05	特記仕様書 5	A - 15	各部詳細図 2
A - 06	附近見取図・配置図・工事概要	A - 16	仮設計画図（参考図）
A - 07	1 階平面図		
A - 08	2 階平面図（改修前）		
A - 09	2 階平面図（改修後）		

[illegible]

8章 防水改修工事

⑪ 降雨に対する養生方法

⑫ 改修工法の種類

03 アスファルト防水

⑭ 改質アスファルトシート防水

(3.1.3による)
○既存防水撤去後直ちに仮防水を行う(3.1.3)

改修工法の種類 (3.1.4)(表3.1.1)

既存防水工法による区分	既存保護層及び防水層の撤去、非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分
・P(保護ｱｽ・改質ｱｽ) ・M(露出ｱｽ・改質ｱｽ) ○S(シート) ・L(ウレタン) ・()	・1(保護及び防水撤去) ・2(保護撤去、防水非撤去) ○3(露出防水撤去) ・4(露出防水非撤去) ・0(保護及び防水非撤去) ・()	○A S(改質アス) ○A S(改質絶縁断熱) ・S(シート) ・S(シート断熱) ・X(ウレタン) ・()

既存防水層等の撤去及び既存下地の処理 (3.2節)
(図示による)

新規防水層の種別、施工箇所 (3.3.3)(表3.3.3～表3.3.10)

種 別	施工箇所
・	

・立上り部における保護層の工法 (場所打ちコンクリート乾式保護材 ・保護れんが)
・脱気装置 種類、設置数量 (・図示による アスファルト・フィング 類製造所の仕様による)

材料、施工 (3.3.2)(3.3.4)(3.3.5)
アスファルトは、JIS K2207防水工用アスファルト3種

・改質アスファルト・フィングシート	種類	非露出複層防水用R種	・
・押入金物	厚さ	アルミニウム製L・30×15×2.0程度	・図示による
・断熱材	工法	材料	厚さ(mm)
	・保護防水断熱工法	JIS A9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA	・
	・露出防水断熱工法	JIS A9521(発砲プラスチック断熱材) ・ ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)	・

露出防水断熱工法におけるﾛｰﾌﾞﾄﾞﾝ回りと立上り部周辺の張りじまいは図示による

・絶縁用シート	3.3.2.(10)による ・
・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ	設計基準強度 (18N/mm2 ・) スランプ(・15cm ・18cm) 仕上・厚さ(・こて仕上 80mm以上 ・仕上あり 60mm以上)
・保護れんが	普通れんが(JIS R 1250)
・屋上排水溝	図示による
・仕上塗料	種類 使用量

新規防水層の種別、施工箇所 (3.4.3)(表3.4.1～表3.4.3)

種 別	施工箇所
○A S ・ T 1	屋内運動場屋上(Roof2)
○A S ・ T 3	管理棟屋上(Roof1)

○脱気装置 種類、設置数量 (改質アスファルトシート製造所の仕様による ・図示による)
・ASIにおける防湿層 (3.4.2)(表3.4.1～表3.4.3)
材料、施工
改質アスファルトシート、粘着層付改質アスファルトシート、部分粘着層付アスファルトシートはJIS A6013により種類及び厚さは以下による。

種類	厚さ(mm)	区分	施工部位
・非露出複層防水用(下層)	以上	R種 ・N種	・平部 ・立上り
○露出複層防水用(上層)	以上	R種 ・N種	○平部 ○立上り

○押入金物	アルミニウム製L・30×15×2.0程度	・図示による
○断熱材	種類	JIS A9521(発砲プラスチック断熱材) ・ ○硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)
	厚さ	○30mm
○仕上塗料	種類	○改質アスファルトシート製造所の仕様による
	使用量	○改質アスファルトシート製造所の仕様による

05 合成高分子系ルーフィングシート防水

06 塗膜防水

07 ケイ酸質系塗布防水

⑯ 施工票

⑰ 防水保証

⑩ シーリング

新規防水層の種別、施工箇所 (3.5.3)(表3.5.1～3)

種 別	施工箇所
・	

・脱気装置 種類、設置数量 (ルーフィングシート製造所の仕様による ・図示による)
材料、施工 (3.5.2)(3.5.4)
合成高分子系ルーフィングシートはJIS A6008により種類及び厚さは以下による

ルーフィングシート種類	厚さ(mm)
・加硫ゴム系	・1.2 ・1.5 ・
・塩化ビニル樹脂系	・1.5 ・2.0 ・
・エチレン酢酸ビニル樹脂系	・1.0 ・
・熱可塑性エラストマー系	・1.2 ・

・絶縁用シート (可塑剤移行防止用シート) 発泡ポリエチレンシート 厚さ(・1.5mm ・)
・固定金物 図示による
・断熱材

工法	材料	厚さ(mm)
・機械的固定	JIS A9521(発砲プラスチック断熱材) ・ ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)	・
・接着工法	JIS A9521(発砲プラスチック断熱材) ・ ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)	・
・仕上塗料	種類 使用量	

PCｺﾝｸﾘｰﾄ下地及びALCパネル下地の場合の目地処理、入隅の増張りは図示による
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする

新規防水層の種別、施工箇所 (3.6.3)(表3.6.1～3)

種 別	施工箇所
・	

・脱気装置の種類、設置数量： (・図示による 主材料製造所の仕様による)

・仕上塗料	種類 使用量	主材料製造所の仕様による)
-------	-----------	---------------

・種別 Y-2の保護層：絶縁用シートの材料 ()
保護ｺﾝ又は保護ﾓﾙﾄﾙ(図示による)
(MOCA(3,3´-ｼｸﾛﾎﾟ-4,4´-ｼｱﾐﾝｼﾞﾌｧﾐﾙﾔﾝ) が含まれているｸﾚﾀ塗膜防水材を使用する場合、特定化学物質障害予防規則に基づく措置を適切に講じること。)

種別、施工箇所 (標9.6.1)(標9.6.3)(標9.6.1)

種別等	施工箇所	備 考
・C-SUI	図示	
・C-SUP		

壁、天井の防水下地 (コンクリート打放し仕上りB種 ・)
コンクリートの打継箇所の処理 (幅、深さ30mm程度の目地棒を用い、ﾎﾞｰﾙﾍﾞﾝﾄﾞﾙﾙ充填 ・)

工事完了後、監督員の指示する場所に取りつける。
施工票の形状等：真鍮板、黒字、ｸﾚﾀ焼付塗り(85mm×125mm)
施工票の記入項目：タイトル、施工年月日、種別、施工業者

保証開始日【○当該工事のしゅん功日の翌日 ・ 】
保証期間 (10年間 ・)

改修工法の種類 (3.1.4)(表3.1.2)

種 別	施工箇所
○シーリング充填工法	水切金物廻り
・シーリング再充填工法	
・拡幅シーリング再充填工法	
・ブリッジ工法	

シーリング材はJIS A5758より、有効期限を過ぎたものは使用しない

材料、目地寸法 (3.7.2)(3.7.3)(表3.7.1)

シーリングの種類	目地寸法(mm)	施 工 箇 所
シリコン系	1成分形	
	2成分形	
変成シリコン系	1成分形	
	2成分形	15×10 水切金物
ポリサルファイド系	1成分形	
	2成分形	
ポリウレタン系	1成分形	
	2成分形	
アクリルウレタン系	2成分形	

上記以外のものは表9.7.1による。

外部に面するシーリング材の接着試験 (3.7.8)
簡易接着性試験 (行う ○行わない)
(適用箇所：)
引張接着性試験 (・行う 行わない)
(適用箇所：)
注:同材の組合せで実施した試験成績表がある場合は行わない

9章 金属工事

01 あと施工アンカー

02 軽量鉄骨天井下地

03 軽量鉄骨壁下地

あと施工アンカーの種類 (8.2.4)

・金属拡張アンカー	打込み方式 本体打込式 ・スリーブ打込式	・芯棒打ち込式 ・内部コーン打込式 ・スリーブ打込式
	・締付け方式	・コーンナット式 ・テーパーボルト式 ・ダブルコーン式 ・ウェッジ式
・接着系アンカー	カプセル型	・ポリエステル系 ・エポキシアクリレート系 ・エポキシ系 ・ビニルウレタン系 ・無機系 ()
	・注入型	・カートリッジ ・現場調合

あと施工アンカーの耐力(以下による ・図示による) (8.2.4)

アンカー径	埋込長さ (mm以上)	引張耐力 (kN以上)	せん断耐力 (kN以上)	確認強度 (kN以上)
以上				
以上				

適用箇所は図示による
・製品取付用あと施工アンカー (製造所の仕様による)

埋込み配管等の探查 範囲、方法(・ 図示による) (8.12.2)
施工後の確認試験(行う ・行わない) (標14.1.3)
方法(引張試験機による試験 ・)

野縁等の種類 屋内(19形) 屋外(25形) (標14.4.2)(標14.4.1)
屋外の野縁、野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 (図示による) (標14.4.3)

新規天井下地のつり受け	確認試験の箇所数	確認強度
受け (6.6.4)		
・既存の埋込みインサート	当該階において3箇所	400N程度
・あと施工アンカー	当該階において3箇所	400N程度

・つりボルトの間隔が 900mmを超える場合
補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・天井ふところが 3.0mを超える場合
補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・耐震性を考慮した補強 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・耐風圧性を考慮した補強 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

スタッド、ランナーの種類 (標14.5.3)(標14.5.1)
(高さの区分による ・)
・スタッドの高さが 5.0mを超える場合
種類() (標14.5.1)
・出入口・開口部の補強(14.5.4による ・) (標14.5.4)

04 金属成形板張り(天井)

05 アルミニウム製笠木

06 長尺金属板葺

⑯ その他金属製品

09 とい

(標14.6.2)

	材料の種類	表面処理等	その他
・金属成形板	・	・	塗装等は図示

取付用下地(軽量鉄骨天井下地による ・)
伸縮調整継手(・設ける ・設けない)

部材の種類 (3.9.2)(表3.9.1)

・オープン形式	・押出し250形	・押出し300形	・押出し350形
・板材折曲げ形	幅(・)	板厚(2.0mm)	

表面処理(・AB-1種 BB-1種 ・) (表5.2.2)
避雷導体(・あり ・なし (板厚 mm以上))

・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具、固定方法等とする

既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の地下補修工法 (図示による ・) (3.9.3)

材料及び葺形式 (標13.2.1～3)(標13.2.1)

種類	塗膜	めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式
JIS G3322 ｸﾏﾞｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板及び鋼帯				・横葺 ・縦掛葺 ・瓦葺葺 ・平葺

下葺材料 ・JIS A6005アスファルト・フィング 940
・改質アスファルト・フィング 下葺材
・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする
設計図書に定めのない工法は専門業者の仕様による。

折板は JIS A6514による (標13.3.2)(標13.3.3)(標13.2.1)

長尺金属板	板厚(mm)	山高記号	山ピッチ記号	形式
・JIS G3318 塗装溶融亜鉛-5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板	・0.6	・09 ・11 ・13	・20 ・25 ・30 ・33 ・35 ・40	・重ね形 ・はぜ締め形
・JIS G3322 ｸﾏﾞｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	・0.8	・15 ・17 ・19	・45 ・50	

耐力区分(・2種(200kgf/m²) ・3種(300kgf/m²) ・)
・軒先面戸板
・断熱材張り 種別() 厚さ(mm)
防火性能()
・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする
設計図書に定めのない工法は折板製造所の仕様による。
雪止め (・設ける ・設けない) (標13.2.3)

(標14.2.1)(標14.2.2)(標14.2.1)(標14.2.3)(標14.2.2)

	材料の種類	表面処理等	その他
・手すり			塗装等は図示
・タラップ	・亜鉛めっき ・SUS304	C種 仕上なし	塗装等は図示
・フード	・SUS304	N o 2 B 仕上り	
○防水端未押入金物	○アルミニウム	○BB-1種	・
・	・	・	・
・	・	・	・

記載のない事項は、図示によるほか、製造所の仕様による。
ステンレス材の表面処理 (HL仕上り程度とする ・)
アルミニウムの表面処理の陽極酸化被膜(被膜 2種)の着色方法 (2次電解着色(色合いは監督員と協議による))

材種 配管用炭素鋼鋼管(白)(JIS G3452) (3.8.2)
工法 降雨に対する養生 ・行う ・行わない (3.8.3)
防露巻き ・行う ・行わない (表3.8.4)
たてどい受金物の取付け(図示による ・)
ﾛｰﾌﾞﾄﾞﾝの取付け(図示による ・)
防露材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

(一 財) 札 幌 市 住 宅 管 理 公 社

課 長 係 長 設計主任 製 図 令和 年 月 日

工 事 名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

図 面 名 特記仕様書 4

縮 尺

A - 04

15章 ユニット及びその他工事

01 フリーアクセスフロア

分類 (標20.2.2)

・置敷き式

・支柱非固定タイプ

・支柱分離型

・支柱調整式

・支柱固定タイプ

・支柱一体型

構成材の材質 (・アルミ系 ・スチール系 ・有機質 ・無機質系)
表面仕上材の材質 (・ビニル床タイル ・カーペット ・タイルカーペット ・ホモジニアスビニル床タイル)
パネル寸法 ()
高さ (床仕上材含まない) (mm)
耐震性能 設計用標準水平震度 Ks (・1.0 ・0.6)
(部位については図示による)
所定荷重 (・3000N ・5000N ・)
帯電防止性能 (U値) (・グレート ・グレート ・グレート)
漏えい抵抗 (1.0 × 1.0 Ω 以上 ・)
寸法精度 (20.2.2による ・)
JIS A1450による試験結果が、以下の性能を満たすこと
耐荷重性能 (変形 5.0mm以下 ・ 残留変形 3.0mm以下)
耐衝撃性能 (残留変形 3.0mm以下及び損傷がないこと)
ローリングロード性能 (残留変形 3.0mm以下 ・)
耐燃焼性能 (不燃材料又は残炎時間 0秒 ・)

02 可動間仕切

JIS A6512による (標20.2.3)
構造形式による種類
構造 (・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式)
空間の仕切り方 (・密閉形 ・開放形 ・自立形)
構成材の種類
構成部品 (・一般パネル ・出入口パネル ・出入口以外の開口部付パネル)
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による
主たる構成基材
スタッド (・アルミニウム合金 ・スチール)
パネル (・アルミニウム合金 ・スチール ・木質 ・ガラス ・樹脂 ・石こう)
遮音性 (・0 ・12 ・20 ・28 ・36)
パネル表面仕上げ、寸法、形状は図示による。

03 移動間仕切

パネルの操作方法の種類 () (標20.2.4)
パネルの表面材 材質 () 仕上げ ()
パネルの圧接装置の操作方法 ()
遮音性能 ()
ハンガーレール取付け下地の補強 ()
あと施工アンカー 材質 () 寸法 ()

04 既製トイレブース

パネル表面材 (・メラミン樹脂系 ポリエステル樹脂系) (標20.2.5)
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による

05 階段滑止め

材種 (・ステンレス鋼(SUS304) ・アルミニウム合金) (標20.2.7)
形状 (・ビニルタイル又は合成ゴムタイル入り) (・内部 ・外部)
幅 (・40mm ・30mm ・35mm)
取付工法 (・接着材併用カールアップ止め 埋め込み ・)

06 床目地棒

材種 (ステンレス ・) (標20.2.8)
アンカー (間隔500mm程度 ・)

07 黒板及びホワイトボード

黒板(JIS S6007) 種類 (焼付け ・) (標20.2.9)
色 (緑 ・)
ホワイトボード(JIS S6052)種類 (ほうろう白板 ・)

08 鏡

厚さ (5mm ・ mm) (標20.2.10)

09 表示

表示板の種類 (標20.2.11)

種類	材質・寸法 厚さ(mm)	印刷等の種類	色彩	書体	取付形式
・室名札	・亚克力板(4.0)	・シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型
・ピクト グラフ	・亚克力板()	・シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型
・案内板	・亚克力板()	・シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型

・ガラススクリーン対人衝突防止表示の材質、形状、寸法 (図示による)
・非常用進入口等の表示 (消防法適合市販品 ・)

10 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 (標20.2.13)

11 ブラインド

ブラインドの形式 (標20.2.14)

形式	横型ブラインド	・縦型ブラインド
材種	アルミニウム合金	アルミニウム合金 ・クロス
開閉方式	ギア式 ・コード式	
スラットの形状・幅	25型 ・ 型	

操作方式、幅、高さ、材種、品質等 図示による (標20.2.15)

12 ロールスクリン

13 カーテンレール

カーテンレール (標20.2.16)
レール及びブラケットの強さによる区分 (10-90 ・10-60)
材種 (・ステンレス製 ・アルミニウム製
・アルミニウム合金の押出し成型材)
形状 (・C型 ・D型 角形)

14 木製家具

合板、ランバーコア、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

16章 環境配慮改修工事

⑪ 石綿含有建材の除去工事共通事項

石綿含有建材除去後の仕上げ工事については 図示による (9.1.1)
(9.1.1)
・石綿粉じん濃度測定
測定方法、時期 (・図示による)
調査部位 (図示による) (ケ所)

(1)専門事業者
石綿含有吹付材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を提出する。 (9.1.2)

(2)石綿作業主任者
石綿含有建材の除去にあたっては、石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令第21号)に基づき選任する。
なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習終了者又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。 (9.1.2)

(3)除去作業者
石綿含有建材の除去に従事する作業者 (以下「除去作業者」という)は、石綿障害予防規則に基づく特別教育を受けた者とする。
また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 (9.1.2)

(4)特別管理産業廃棄物管理責任者
受注者は石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、廃棄物処理法に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置し、監督員に報告する。
なお、選任は元請業者の中で行う(ただし石綿含有成形版の除去工事を除く)。 (9.1.2)

(5)表示及び提示
「建築物の解体等の作業に関するお知らせ」を周辺住民の見やすい場所に提示する。 (9.1.2)

(6)作業結果の報告
特定粉じん排出等作業の完了後、監督員に作業結果を報告する。

除去工事においては保護衣を着用し、使用毎に廃棄すること。 (9.1.2)

02 石綿含有吹き付け材の除去

(1)除去の工法 (9.1.3)
(粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去 [・手ばらし ・切断、破砕等] ・)

(2)除去物及び汚染物の処理
処理方法は下記のとおりとする。
また、処理施設については、受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。
(a)処理方法 (密封処理 [二重袋梱包] ・セメント固化)
(b)飛散防止措置 (湿潤化 ・固形化)
(c)処分施設へ搬出 (調書を監督員に提出する)
石綿含有吹付け材
搬出先:山口処理場 (手稲区手稲山口364)

(3)除却した石綿含有吹付け材を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止処置を講ずる。
また、保管場所には、廃石綿等の保管場所であることの表示を行う。

03 石綿含有保温材等の除去

(1)除去の工法 (9.1.4)
(粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去 [手ばらし] ・)

(2)除去物及び汚染物の処理
処理方法は下記のとおりとする。
また、処理施設については、受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。
(a)処理方法 (密封処理 [二重袋梱包] ・セメント固化)
(b)処分施設へ搬出 (調書を監督員に提出する)
石綿含有保温材等
搬出先:山口処理場 (手稲区手稲山口364番地)

⑭ 石綿含有成形板等の除去

(1)石綿成形板等の仕様

石綿含有成形板等の仕様	厚さ(mm)
・石綿セメント板	
・化粧石綿セメント板	
・吸音穴あき石綿セメント板	
・石綿セメントサイディング	
・石綿セメント珪酸加石灰板	
・化粧石綿セメント珪酸加石灰板	
・押出成形セメント板	
・ビニル床タイル	
・油性ユレック	
・石綿含有せっこうボード	
・モルタル	

処理は適切に行い、範囲は図示による
(2)除去の工法 (9.1.5)
(湿潤化後除去 [原形のまま手ばらし] ・切断、破砕等)

(3)除去物及び汚染物の処理
処理施設については、受入条件等を確認のうえ、事前に監督員と協議すること。

(4)石綿含有成形板等の集積、運搬等 (9.1.5)

(a)除去した石綿含有成形板等の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。
(b)万一破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋に入れる等、飛散防止の措置を講ずる。
(c)除去した石綿含有成形板等を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。
また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。
(d)石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。

05 石綿含有仕上塗材の除去

石綿含有仕上塗材の除去工法 (・図示による ・塗膜剥離工法 ・高圧水洗工法 ・サンダー工法) (9.1.6)

06 外断熱改修工事

材料 (9.2.2)

	種類
断熱材	種類 (・) 厚さ (・)
外装材	種類 (・) 防火性能 (・)
鋼材	下地金物:

既存外壁の処置 「11章外壁改修工事」による (9.2.4)
工法 ()
通気層: ・有 (厚さ) ・無
外装材の取付方法 (あと施工アンカー等 ・)
外装材の施工 ()
断熱材の施工:
不陸等の下地調整 ()
(断熱材製造所の仕様による ・)
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする

(一財)札幌市住宅管理公社

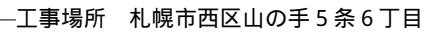
令和 年 月 日

工事名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

図面名 特記仕様書 5

縮尺

図番 A - 05



部 位	管理棟屋上（Roof1）	屋内運動場屋上（Roof2）	パラペット立上り（Roof1・Roof2共）	腰壁立上り（Roof1）
改 修 前	塩ビシート防水 t1.3（絶縁工法 脱気付）【撤去】 コンクリート直均し下地【既存のまま】	塩ビ系シート防水 t1.3（断熱絶縁工法 脱気付）【撤去】 断熱層：F P 板 t30【撤去】 一部下地調整（勾配）モルタル t=0～60【既存のまま】 ALC版 t150【既存のまま】	塩ビ系シート防水 t1.3（接着工法）【撤去】 防水層端末押え金物（L金物、アルミ既製品）【撤去】 （ステンレスビス止め）	塩ビ系シート防水 t1.3（接着工法）【撤去】 アルミ水切金物（W=30既製品）【撤去】 シーリング15×10【撤去】
改 修 後	改質アスファルトシート防水（AS-T3）【新設】	改質アスファルトシート防水（AS-T1）【新設】 断熱層：硬質ウレタンフォーム t30【新設】 ALC版面：ポリマーセメント系仮防水【新設】	改質アスファルトシート防水（AS-T1）【新設】 防水層端末押え金物（L金物、アルミ既製品）【新設】 （ステンレスビス止め）	改質アスファルトシート防水（AS-T1）【新設】 防水層端末押え金物（アルミ既製品）【新設】 アルミ水切金物（W=30既製品）【新設】 シーリング（MS-2）15×10【新設】



株式会社

札幌工房

一級建築士事務所 登録(石)648号
一級建築士 服部基広
登録番号第246368号



工
事
名

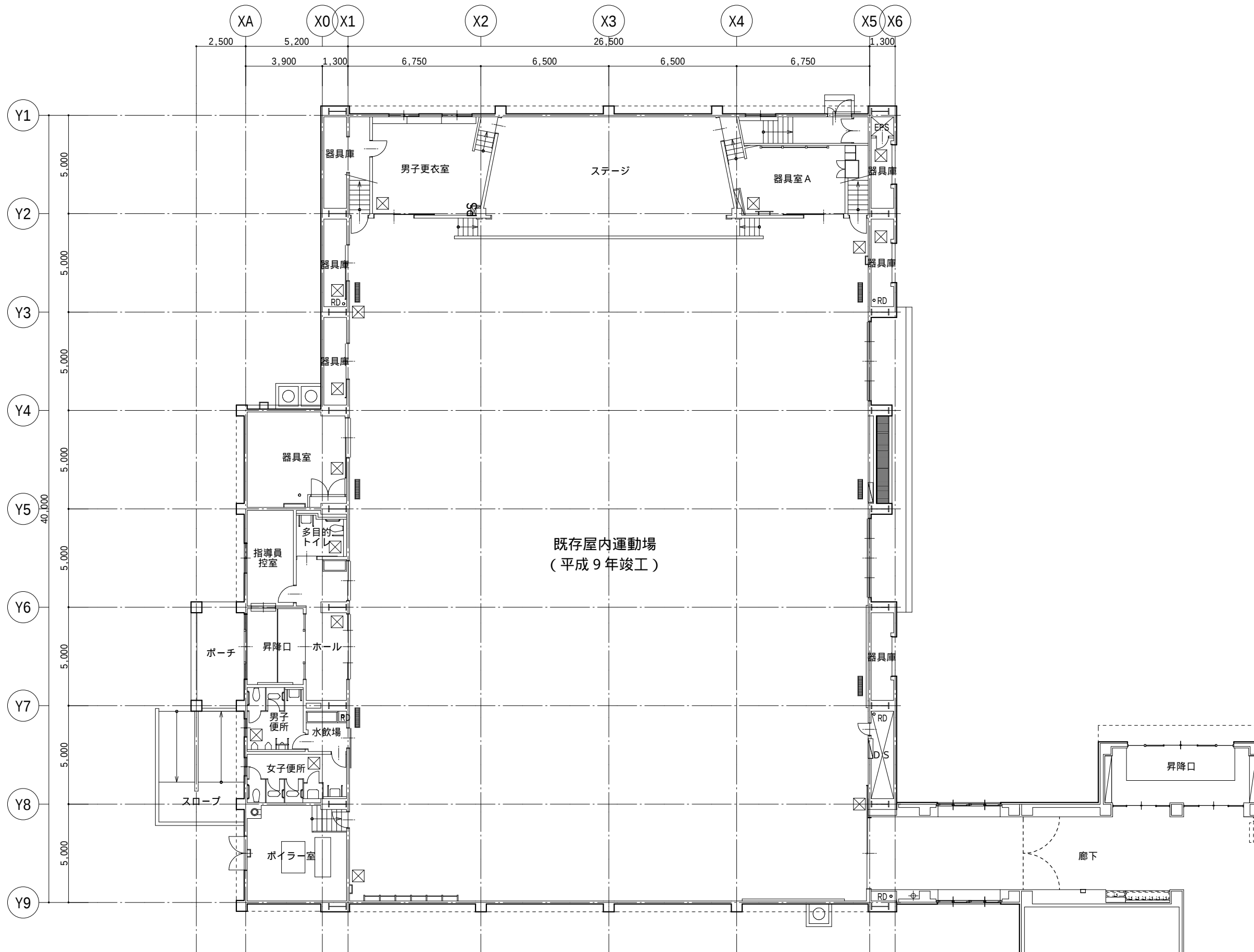
山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事

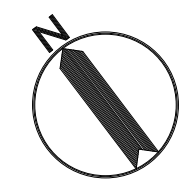
図名	縮尺
----	----

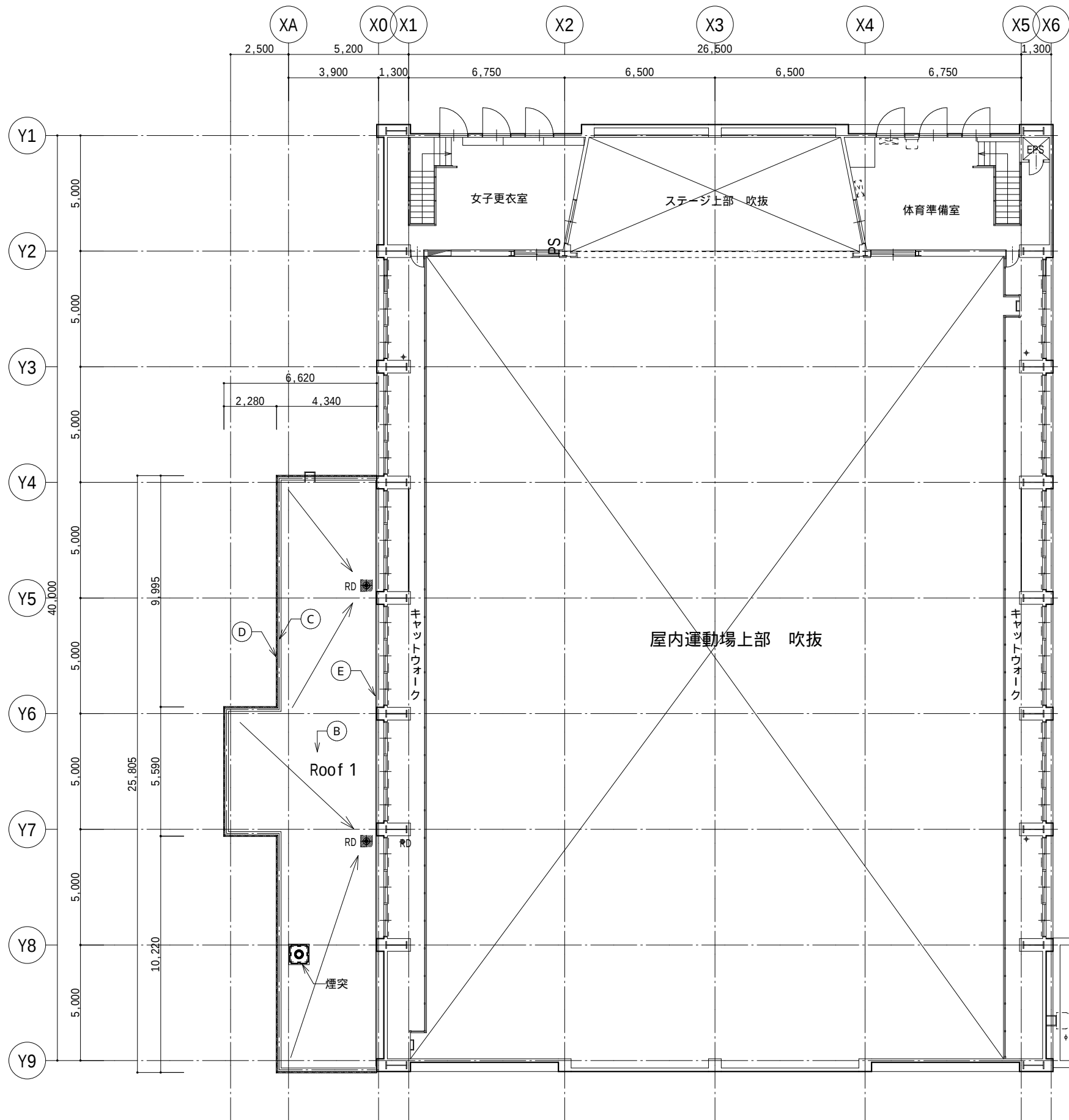
附近見取図・配置図・工事概要

1/5,000 1/800

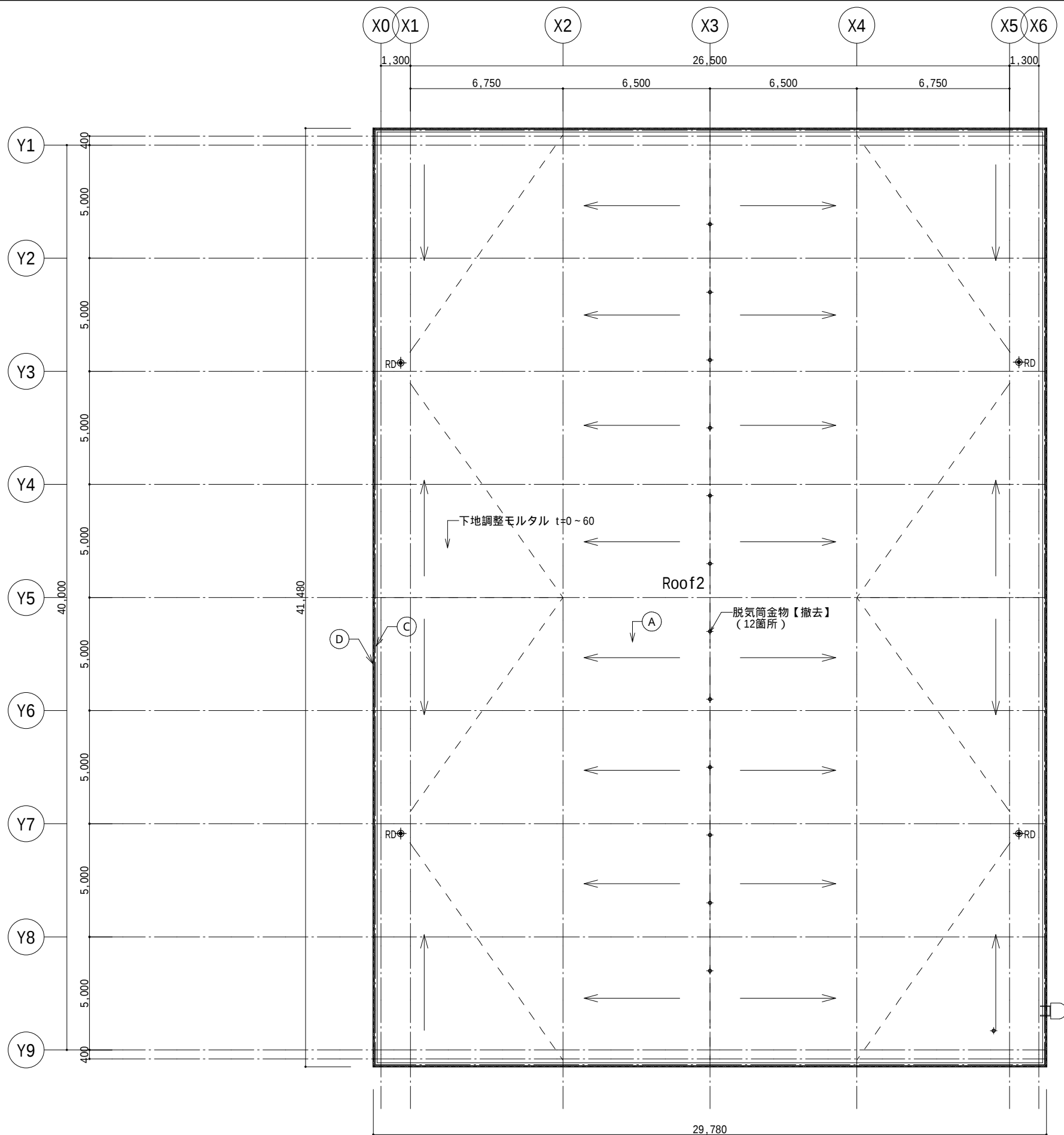
A - 06





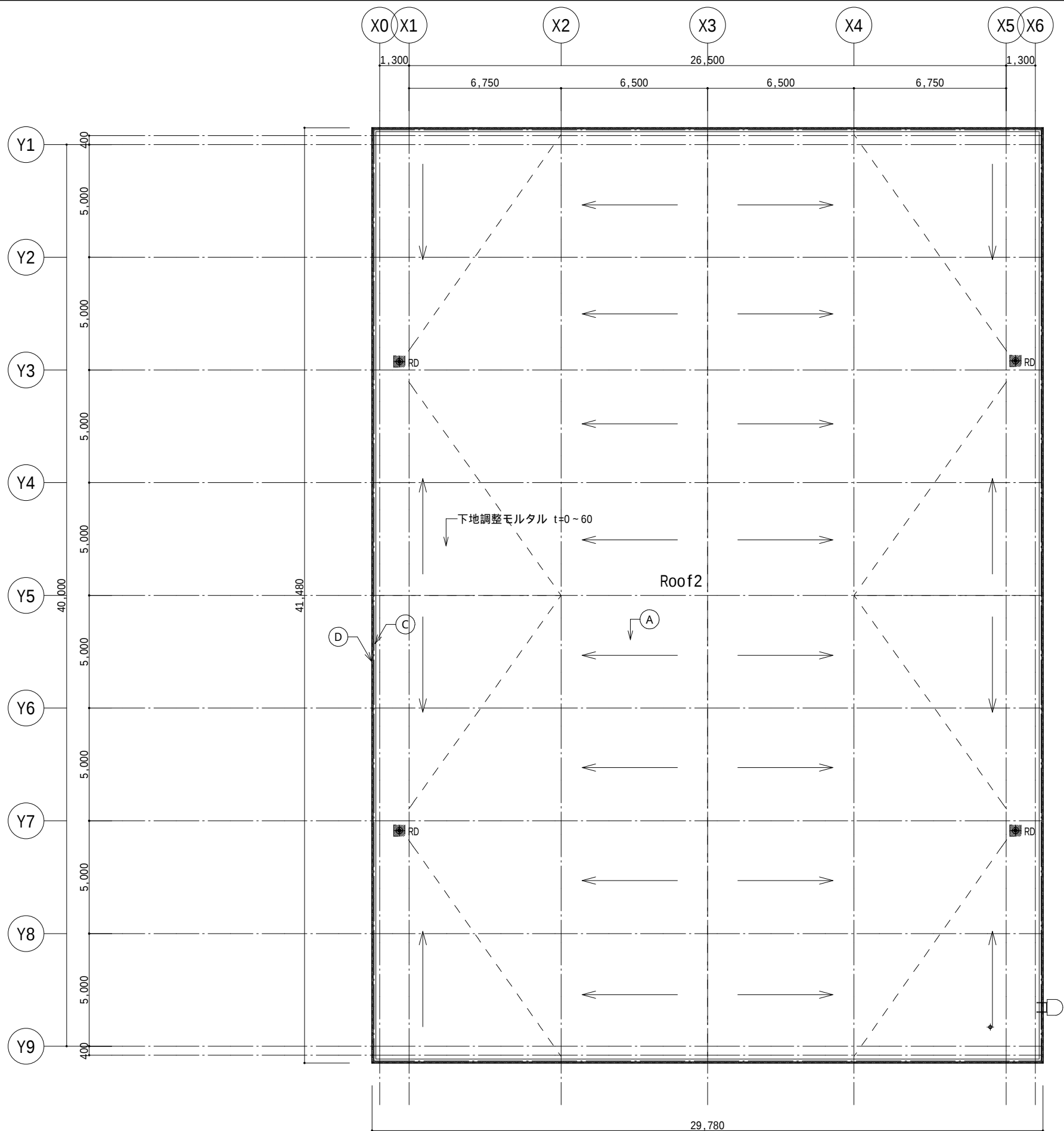


凡 例	
	改質アスファルトシート防水AS-T1（トーチ工法）【新設】 断熱層：硬質ウレタンフォームt30【新設】 ALC版面：ポリマーセメント系仮防水【新設】
	改質アスファルトシート防水AS-T3（トーチ工法）【新設】
	立上り：改質アスファルトシート防水AS-T1（トーチ工法）【新設】
	防水層端末押え金物（L金物、アルミ既製品）【新設】 （ステンレス止め）
	アルミ水切金物（W=30既製品）【新設】 （ステンレス止め）
	アルミ製ドレンキャップ【新設】 縦ひきドレン 銅製φ75 300×300【新設】

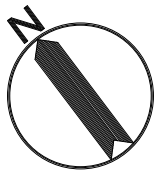


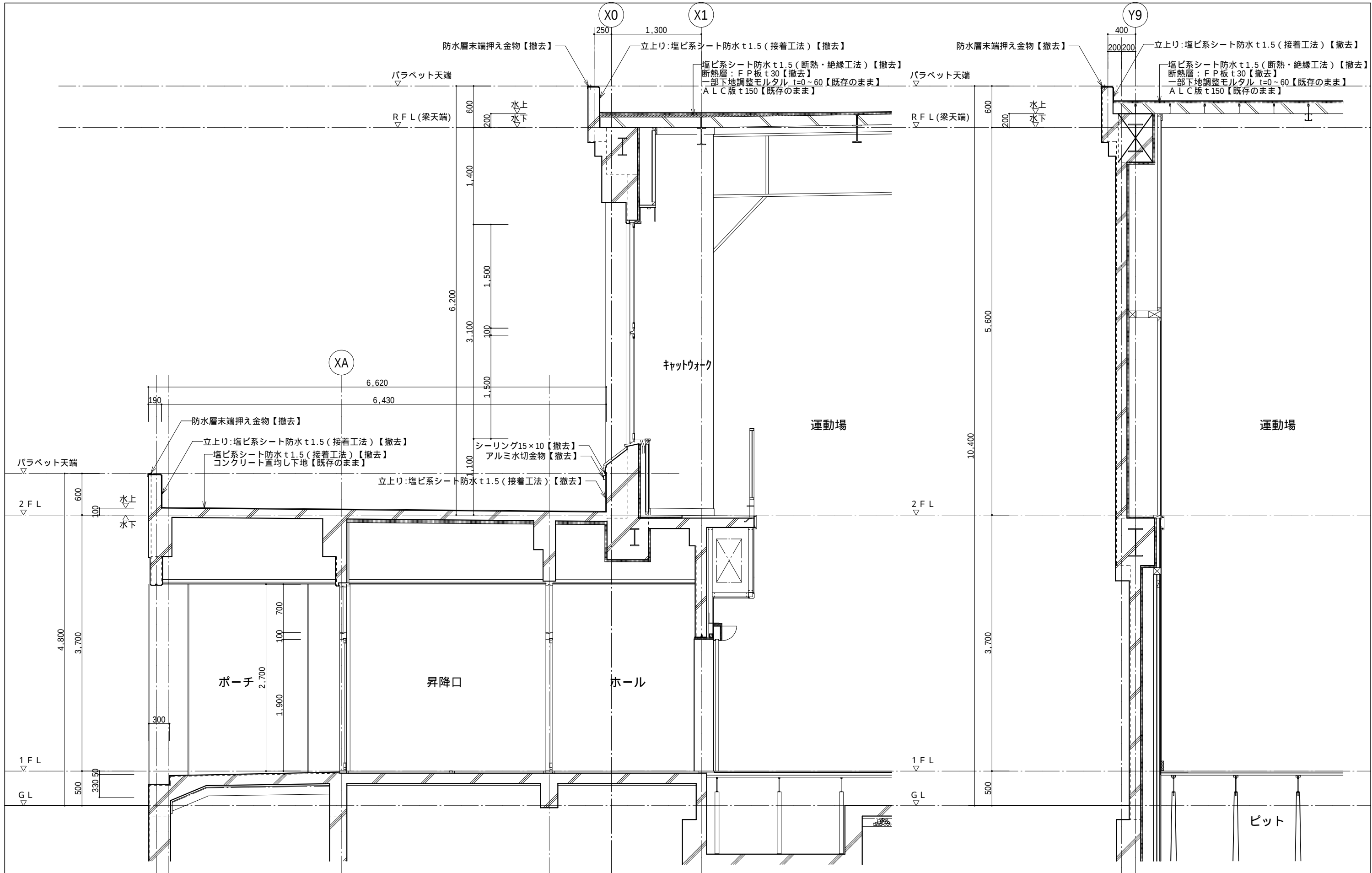
凡 例	
	塩ビ系シート防水 t1.3 (断熱絶縁工法 脱気付)【撤去】 断熱層: F P 板 t30【撤去】 一部下地調整(勾配)モルタル t=0~60【既存のまま】 A L C 版 t150【既存のまま】
	塩ビ系シート防水 t1.3 (絶縁工法 脱気付)【撤去】 コンクリート直均し下地【既存のまま】
	立上り: 塩ビ系シート防水 t1.3 (接着工法)【撤去】
	防水層端末押え金物(L金物、アルミ既製品)【撤去】 (ステンレスビス止め)
	アルミ水切金物(W=30既製品)【撤去】 (ステンレスビス止め)
	ルーフトレン金物撤去【撤去】 既設ドレン管洗浄(ドレン金物から第一雨水桝まで)



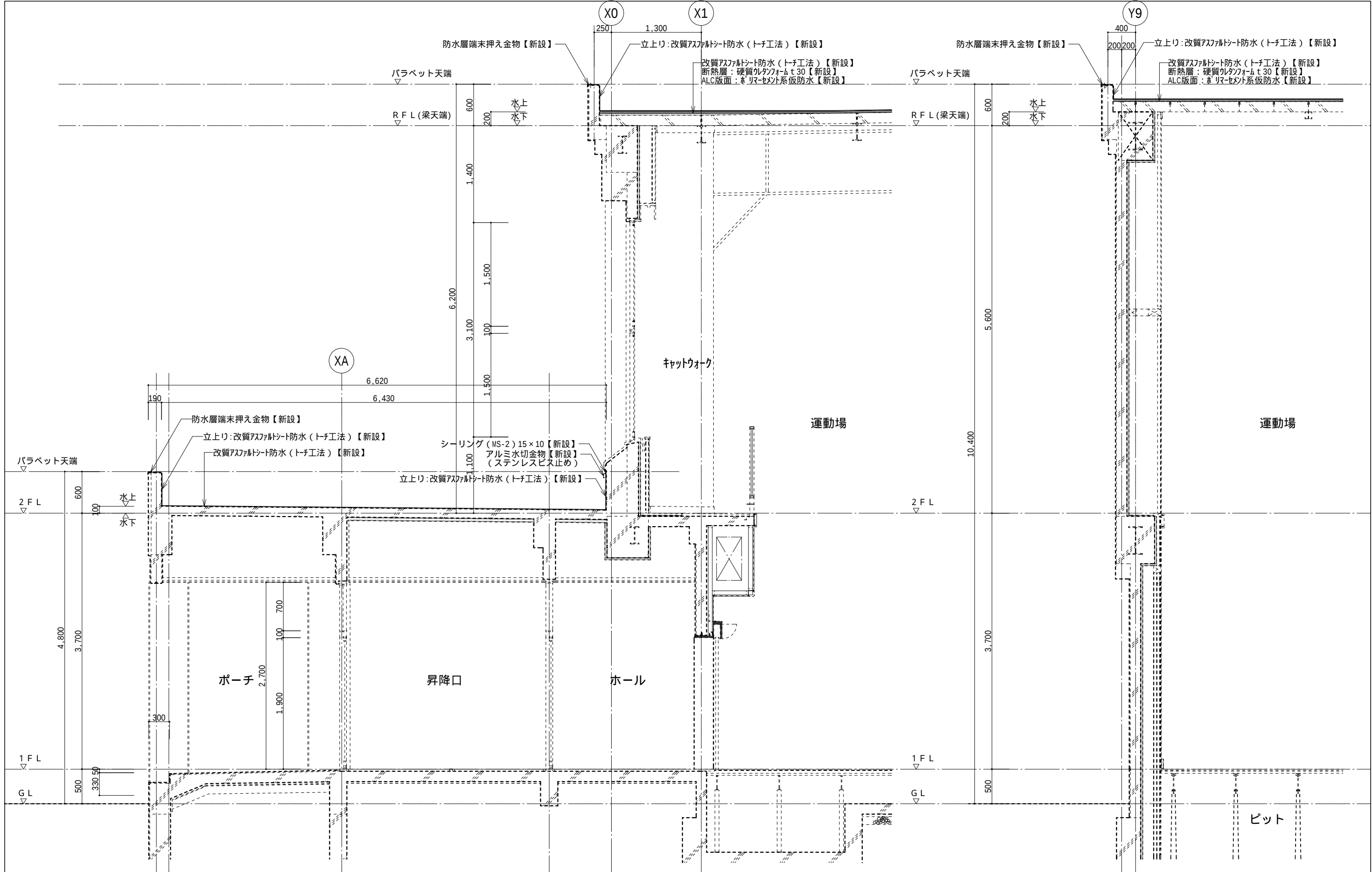


凡 例	
	改質アスファルトシート防水AS -T1 (トーチ工法) 【新設】 断熱層: 硬質ウレタンフォーム t 30 【新設】 ALC版面: ポリマーセメント系仮防水 【新設】
	改質アスファルトシート防水AS-T3 (トーチ工法) 【新設】
	立上り: 改質アスファルトシート防水AS-T1 (トーチ工法) 【新設】
	防水層端末押え金物 (L 金物、アルミ既製品) 【新設】 (ステンレス止め)
	アルミ水切金物 (W=30既製品) 【新設】 (ステンレス止め)
	アルミ製ドレンキャップ 【新設】 縦ひきドレン 銅製 φ 75 300 × 300 【新設】





 株式会社 札幌工房	一級建築士事務所 登録(石)648号 一級建築士 服部基広 登録番号第246368号 	工事名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事	図名 矩計図(改修前)	A - 12
			縮尺 1/50	



S 株式会社 札幌工房	一級建築士事務所 登録(石)648号 一級建築士 服部基広 登録番号第246368号 	工事名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事	図名 矩計図(改修後)	A - 13
			縮尺 1/50	

屋内運動場		屋上防水詳細図 (R o o f 2)		1/10		ドレン廻り詳細図 (R o o f 2)		1/10		
改修前	防水層端末押え金物 (L 金物、アルミ既製品) 【撤去】 (ステンレスビス止め) 立上り：塩ビ系シート防水 t1.5 (接着工法) 【撤去】 塩ビ系シート防水 t1.5 (断熱・絶縁工法) 【撤去】 断熱層：F P 板 t30 【撤去】 一部下地調整 (勾配) モルタル t=0~60 【既存のまま】 A L C 版 t150 【既存のまま】 入隅塩ビ鋼板 固定ディスク パラベット天端 R F L (梁天端) 水上 水下 65 45 165 150 15 600 200 150 塩ビ系シート防水 t1.5 (断熱・絶縁工法) 【撤去】 断熱層：F P 板 t30 【撤去】 A L C 版 t150 【既存のまま】 目地鉄筋 9 φ L=1000 @600 モルタル充填 入隅塩ビ鋼板及び固定ディスクは塩ビ系シート防水と共に撤去とする。									
	改修後	防水層端末押え金物 (L 金物、アルミ既製品) 【新設】 (ステンレスビス止め) 立上り：改質アスファルトシート防水 (AS-T1) 【新設】 改質アスファルトシート防水 (AS -T1) 【新設】 断熱層：硬質ウレタンフォーム t30 【新設】 ポリマーセメント系防水 【新設】 アンカー穴部シーリング補修 目地モルタル欠損部シーリング補修 パラベット天端 R F L (梁天端) 水上 水下 65 45 165 150 15 600 200 150 改質アスファルトシート防水 (AS -T1) 【新設】 断熱層：硬質ウレタンフォーム t30 【新設】 ポリマーセメント系防水 【新設】 目地モルタル欠損部シーリング補修 目地モルタル欠損部及びアンカー穴部は、仮防水前にシーリング補修とする。								
 株式会社 札幌工房		一級建築士事務所 登録(石)648号 一級建築士 服部基広 登録番号第246368号  工事名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事		図名 各部詳細図 1 縮尺 A3 : 1/10		A - 14				

管理棟	屋上防水詳細図 (R o o f 1)	1/10	㉔ 煙突廻り詳細図 (R o o f 1)	1/20	
改修前	パラベット天端 65 45 600 190 40 150 100 水上 2 F L 水下 防水層端末押え金物 (L 金物、アルミ既製品) 【撤去】 (ステンレスビス止め) 立上り : 塩ビ系シート防水 t 1.5 (接着工法) 【撤去】 塩ビ系シート防水 t 1.5 (絶縁工法) 【撤去】 立上り : 塩ビ系シート防水 t 1.5 (接着工法) 【撤去】 入隅塩ビ銅板 固定ディスク ルーフトレン金物 【撤去】 シーリング 15 × 10 【撤去】 アルミ水切金物 【撤去】 (ステンレスビス止め) ドレン洗浄 : 2 箇所 ドレン金物から第 1 雨水樹までとする。		65 150 362 150 65 792 600 65 150 362 150 65 792 シーリング 15 × 10 【撤去】 アルミ水切金物 【撤去】 (ステンレスビス止め) 塩ビ系シート防水 t 1.5 (接着工法) 【撤去】		
改修後	パラベット天端 65 45 600 190 40 150 100 水上 2 F L 水下 防水層端末押え金物 (L 金物、アルミ既製品) 【新設】 (ステンレスビス止め) 立上り : 改質アスファルトシート防水 (AS-T1) 【新設】 改質アスファルトシート防水 (AS-T3) 【新設】 改質アスファルトシート防水 (AS-T1) 【新設】 アルミ製ドレンキャップ 【新設】 縦引きドレン 銅製 φ 75 300 × 300 【新設】 シーリング (MS-2) 15 × 10 【新設】 アルミ水切金物 【新設】 (ステンレスビス止め) 防水押え金物 【新設】		65 150 362 150 65 792 600 65 150 362 150 65 792 シーリング (MS-2) 15 × 10 【新設】 アルミ水切金物 【新設】 (ステンレスビス止め) 防水押え金物 【新設】 改質アスファルトシート防水 (AS-T1) 【新設】		
S 株式会社 札幌工房		一級建築士事務所 登録(石)648号 一級建築士 服部基広 登録番号第246368号 	工事名 山の手小学校屋内運動場屋上防水改修工事	図名 各部詳細図 2 縮尺 A3 : 1/10	A - 15

